

日本気象学会誌 **気象集誌****第II輯 第75巻 第1号 1997年2月**

- 伊賀啓太：一層の渦位が一様である前線の不安定性1-11
- 山森美穂・佐藤 薫・廣田 勇：局地気候モデルデータを用いた東アジア域の
上部対流圏中間規模波動の季節変化の研究13-22
- 坪木和久：熱帯の大規模渦擾乱に伴う赤道クラウドクラスターの西進と分裂23-42
- C. H. So・Johnny C. L. Chan：香港における夏のモンスーン開始に関する解析的研究43-57
- 井上豊志郎：極軌道衛星 NOAA に搭載されている Split Window で算定された
雲型別雲量の昼と夜でのちがい59-66
- 島津好男：台風8913号で観測された幅が広く動きの遅いレインバンドと
細くて動きの速いレインバンド67-80
- 村田昭彦・山内 恭：AVHRR データから求めた1987年の東南極大陸上の雲の分布特性81-93

要報と質疑

- 大崎祐次・中村健治：水平・垂直両偏波同時受信可能な Ku バンド 2 偏波レーダ
により観測された Z_{DR} のみから降雨強度を推定する手法について95-99
- 田島俊彦・中村敏郎・黒川浩志：定常傾圧波動における 3 次元ラグランジュ運動の
実験的観測101-109

編集後記：本号から、「天気」に本学会の英文論文誌「気象集誌」の和文目次を掲載することになりました。気象集誌の和文目次はこれまでも1987年2月号まで掲載していたのですが、しばらく休止になっていたものです。今後、2か月に1度のペースで、2か月遅れで掲載を続ける予定です。会員の皆様がこの目次をご覧になって、こんなに面白い論文が載っているのならば是非B会員になってみようと思っただけならこれ以上のことはありません。そこまで行かなくとも、この目次から気象集誌の興味深い論文を見つけて、ご自分の調査研究や業務に役立てていただければ幸いです。

さて、ご存じのように、「天気」ではやむをえない事情により昨年末をもって「日々の衛星画像」の掲載を打ち切りました。インターネットの普及で、「天気」によらなくても静止衛星画像を入手できる方も増えたと

はと思いますが、編集委員会では、まだまだすべての会員の方がインターネットにアクセスできる環境にいるわけではないという認識のもとに、何とか存続させる道はないかと、1月号の締め切りぎりぎりまで様々な可能性を真剣に検討してきました。しかしながら、与えられた短い時間の間に1997年を通して掲載できる見通しが立たず、残念ながらひとまず掲載中止となったわけです。編集委員会ではこれに変わる新しい企画をいくつか検討しており、まず1月号から新刊図書案内欄を開始しました。今後の新企画に関してご意見・ご要望がありましたら、是非編集委員会までお願いいたします。また、再開の見通しがたっているわけではありませんが、「日々の衛星画像」に対して現在どれだけの要望があるか、またその場合、全球画像と日本域画像のどちらにご希望が多いかなどに関する率直なご意見もお寄せいただければ幸いです。（新野 宏）